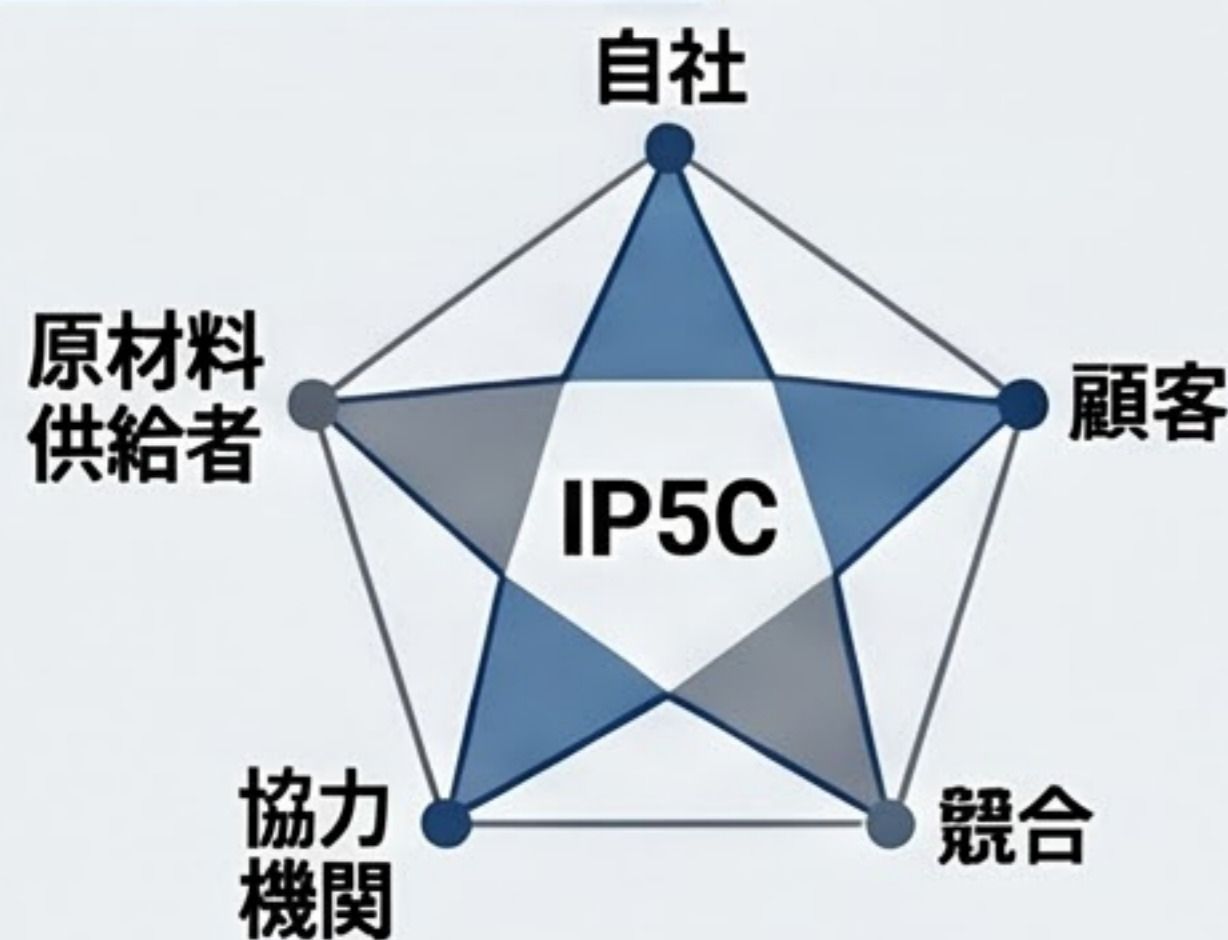


知的資本をイノベーションのエンジンへ：古河電工の生成AI×知財ランドスケープ戦略

Transforming Intellectual Capital into an Innovation Engine: Furukawa Electric's Generative AI x IP Landscape Strategy

戦略的基盤



独自の環境分析フレームワーク：
サプライチェーンを網羅的に分析



「チャンスマキシマム」の追求：
意思決定をエビデンスに基づいて支援
事業機会を最大化

デジタルインフラ



社内専用AIプラットフォーム
(OneFIT)



RAG技術で秘匿性の高い
知財・技術文書を安全に解析

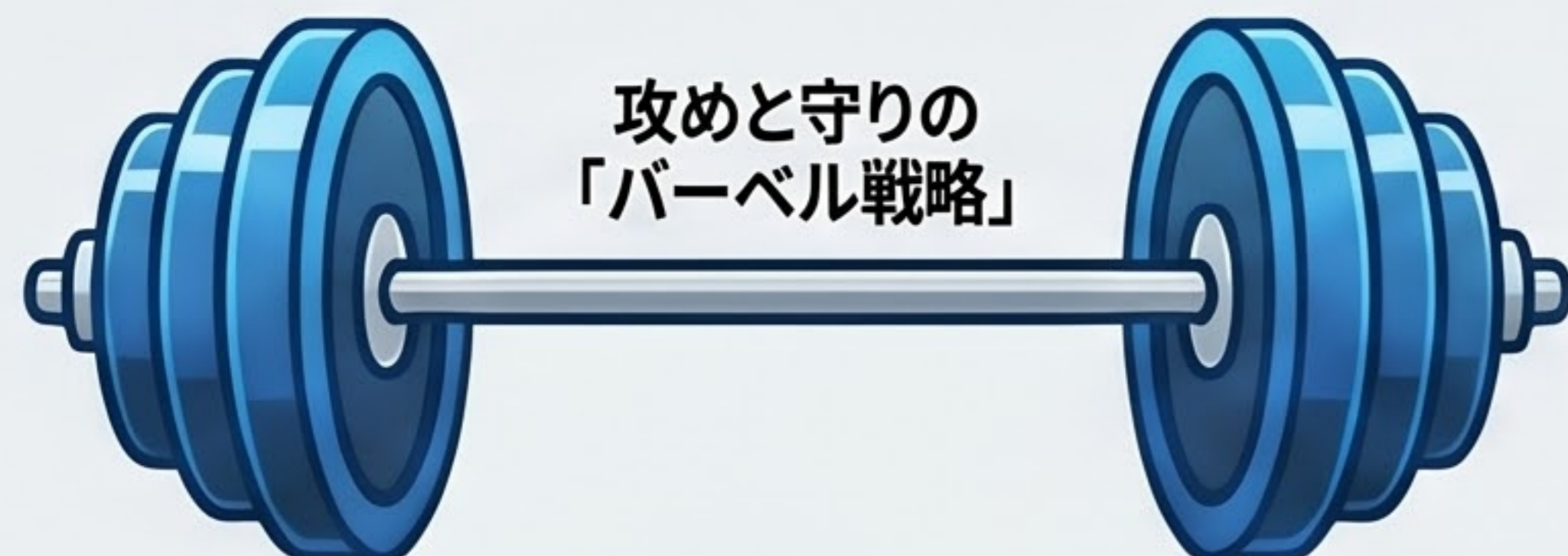
DX推進の4本柱による土壌改良
基幹システム刷新、データサイロ破壊、
ITガバナンス強化、中央集権的統制(DXIC)



「コーポレート・ブレイン」への進化

組織の記憶を統合し、
自然言語で対話可能な知的基盤

組織・文化



攻めと守りの
「バーベル戦略」

全社的なAIの民主化
(広範なリテラシー)

高付加価値領域での集中活用
(深い専門性)



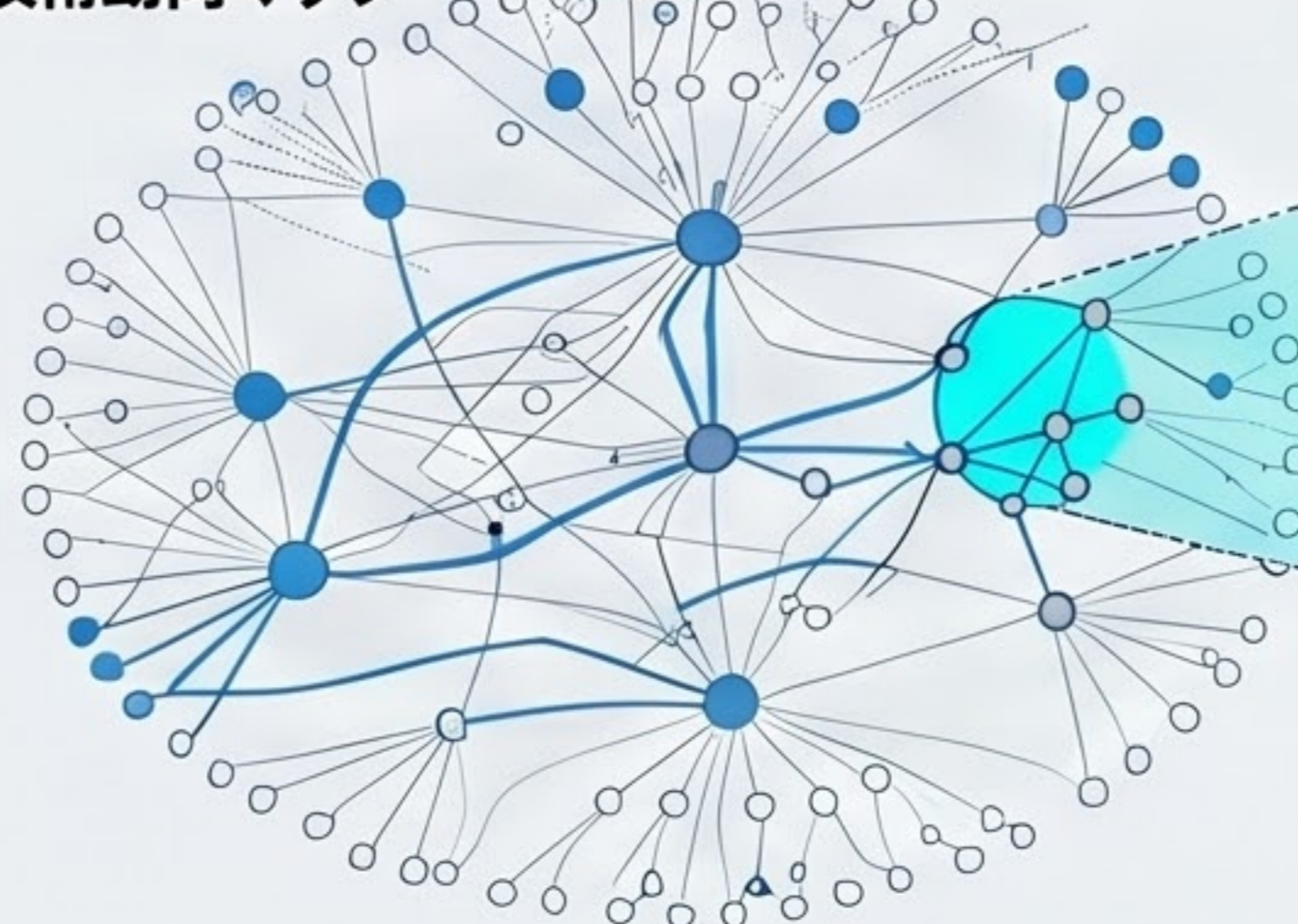
80名の「AIプロモーター」制度
現場の課題をAIで解決する
チェンジ・エージェントを各部門に配置

業務効率化から創造性へのシフト
文書受約・レポート作成を自動化、
人間は「戦略的な権利設計」や
「事業とのアライメント」に集中

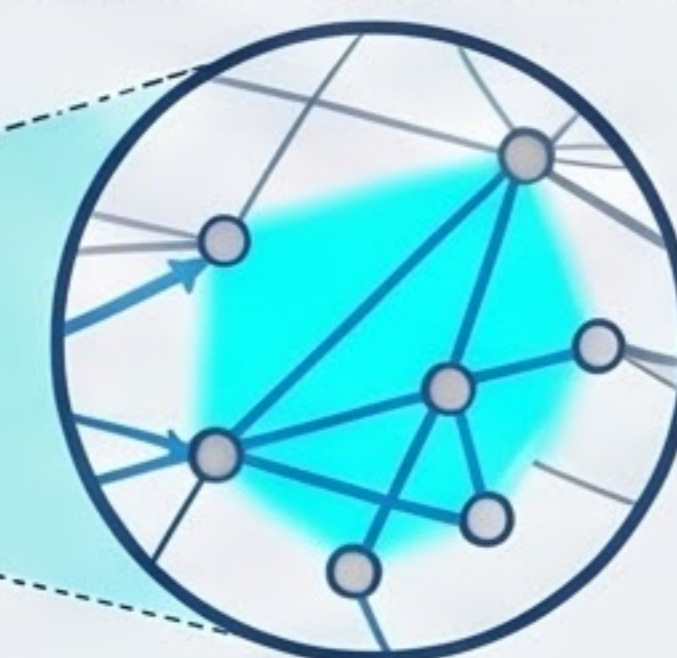
高度応用

生成AIによる「技術動向マップ」の自動生成

技術動向マップ



ホワイトスペース
(未踏の技術的空白地帯)



自律的に発見：
新事業の種を提示



異業種知見の触媒としてのAI
異なる技術ドメインの概念を掛け合わせ、
新製品のアイデア創発(新結合)を加速

未来展望



フェーズ1：
ナレッジ共有の徹底
部門を越えて過去の
技術データを運流



究極の姿「知財AIエージェント」
世界中の特許や論文を24時間監視し、
リスクや機会をプロアクティブに警告・提案



模倣困難な「経済的な堀(Moat)」の構築
130年以上の独自データとAIを結合、
データ駆動型の競争優位性を確立